



## 施設の概要と工法等の特徴

地産地消が提唱されている中、自署の生産材を主体に東北森林管理局管内で生産した材も取り入れ、その全量を地元で加工して使用した。

特徴として、大館樹海公園に隣接していることから、その周辺の景観との調和、木の温もりと木への親しみを身近に感じてもらえるよう外部ポーチとテラスには秋田スギを丸太のまま柱として使用し、外壁には秋田スギ板、ポーチ部分には秋田スギをダイヤ型に加工した板を使用して丸太柱と板材との調和を図っている。

また、積雪を考慮して執務室部分を雁木(テラス)造りとしたほか、正面玄関など周囲の屋根を半円形のデザインとした。

天井大梁にはカラマツの集成材を使用し、床の下層部には樹皮を再資源化した断熱材ボードを、表層部にはブナ、ナラ、カラマツ材のフローリングを使用し木の温もりを醸し出している。

1階ホールには「天然秋田スギ」「秋田スギ」「円筒LVL」の3本の通し柱を配置し、壁面はスギ樹皮を仕上げ材に製品化した「エコプロボード」を市松に貼り付け、次代を担う森林をイメージした木の空間を形成している。

■設計 / 石川設計事務所  
〒010-0851 秋田市手形十七流121-7  
TEL 018-834-6100

■施工 / 株式会社 大成工務店  
〒017-0043 大館市有浦3丁目1-27  
TEL 0186-42-1977

■工期 / H14.8~H15.1

■構造・規模 / 木造平屋一部2階

■建築面積 / 488m<sup>2</sup>

■延床面積 / 514m<sup>2</sup>

■敷地面積 / 3,283m<sup>2</sup>

■建築費 / 69,195千円

■m<sup>2</sup>あたり単価 / 135千円/m<sup>2</sup>

■設計費 / 2,400千円

■木材使用量 / 223m<sup>3</sup>

■使用樹種 / スギ、カラマツ、ブナ、ナラ